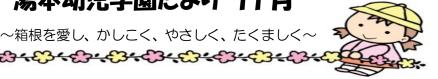
湯本幼児学園だより 11月

~箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく~



令和3年11月30日(火) 湯本幼児学園

晴天続きのうれしい毎日。子どもたちは、冬のしたく が始まっている園庭で、元気いっぱいあそんでいます。 冷たい風にほおを赤くしている子も見かけます。

友達を誘い、鬼ごっこや、リレー、円形ドッチボールな ど楽しんでいます。異年齢交流も自然に行われ、なかよし 組の遊びに仲間に入るきりん組。ぺんぎん組のお世話を するきりん組。憧れのお兄さんの真似をするちゅうりっ ぷ組。等コロナ対策を取りながら、交流の機会を増やして います。

19 日はなかよし組が考えたお化け屋敷とレストランに 招待してくれました。つくし組から順番に遊びに行き、楽 しませてもらいました。一つ一つの活動から、なかよし組 の子ども達が、それぞれの思いを出し、試したり工夫した りしながら、同じ目的に向かって思いを共有し、考えをま とめ、形にしていくことの喜びと楽しみを感じています。

散歩に出かけ、ドングリや落ち葉、木の実など子ども達 が拾ってきたもので製作も始まっています。五感を使い 創造力、思考力を駆使して、箱根の秋の自然物を使って遊 びが展開していくかと思うとわくわくします。

参観ウィークでは3日間の予定で子ども達の 園での生活を参観して頂く予定です。

子ども達が、お家の人にこんなこと見せたい、あ んなことしたいと色々と考えているようです。

参観ウィークの名前もなかよし組が考えてく れました。ご案内は1日、詳しい内容は各クラス のお便りでお知らせします。

幼児期はあそびの中で色々なことを学んでい ます。興味関心を持ち、自分なりに探求していく 力も付きます。試したり工夫したりしながら獲得 していきます。また、遊びを通して「自分たちは こんなことができる」という感動を伴った主体的 な成功体験をすることは、自己有用感を実感する 人生の重要な学びでもあると言われています。そ んな力が学校に行って学習に向かう姿勢に繋が

幼児期の主体的な遊びを大事にして、個に応じ た関わりをしながら子ども達の遊びの中での学 びを支えていきたいと思います。

保護者の方も一緒に支えていってください。



地域の教育力を活かして

子ども達は色々な人に支えられて、日々生 活をしています。地域の方たちの温かい関わ りが子ども達の心を豊かにし、優しい気持ち になります。コロナの感染が落ち着き地域の 方たちと触れ合う機会が持てるようになっ たことに感謝し、これからも、色々な形で地 域の力を借りながら活動を展開していけた らと思います。

11月15日白山神社に七五三詣でに行きま した。神社の総代の方たちが、子ども達を迎 えてくれ、お参りをした後にお祓いをしてい ただきました。子ども達は、それぞれ持って きたお賽銭を入れ、神様にどんなお願いをし たのでしょうか。帰りに、千歳飴をいただき 大満足な子ども達でした。





11 月 5 日はさくらんぼ会のお母さん たちの読み聞かせがありました。4、5 歳児クラスは保育室で、3歳児は園庭で それぞれお話を聞きました。それぞれの クラスに合った絵本を厳選して頂いた ので子ども達はお話に見入っていまし た。





11月10日は、延期になっていたますつかみでした。 なかよし組が森小の黄色いバスに乗って、清流公園ま で行ってきました。園を出るときは少し風が強かった ですが、水も冷たくなく、長靴に履き替えて入ったので すが、夢中になって捕まえているうちに長靴の中に水 が入っても気にすることなくますと格闘している子ど も達でした。お弁当の後は清流公園を散策しドングリ や落ち葉を拾ったり、滝を見たりしました。清流公園の 方たちに感謝し、頂いたますはとても美味しかったと 次の日に話をしてくれました。

9日は消防本部の方の防火指導 がありました。119で消防の日に ちなんで11月9日から秋の火災 予防週間が始まると言われました 火災報知機の話や火の怖さを話し てくれ、ポンプ君とレスキュー君が 登場し「火遊びはしない」と約束し ました。





22日に勤労感謝にちなんで、郵 便局と、子育て支援課、給食室に 手作りのカレンダーを届けに行 きました。なかよし組がお世話に なった人たちに合った絵を考え て描き、一つしかないカレンダー が出来上がりました。きつつき号 や消防署の方へも届けます。